



# 道徳教育だよ



足利市立矢場川小学校  
平成30年10月5日  
平成30年度第7号

2学期がはじまり、1か月がたちました。子どもたちは、生活の中で問題にぶつかったときに、自分なりによく考え行動する姿が見られます。

9月26日（水）に行われた道徳の研究授業が行われました。今回は、「規則の尊重」について考えた3年1組の授業の様子をお知らせします。

## 3年の授業「黄色いかさ」

子どもたちは、みんなの使うものは大切で、大切に使うと、みんなも気持ちがいいから、いいことをいっぱいしたいと思います。自分一人で使う物を返さなかったら、こんなふうに他の人がすごく困ってしまうことがよくわかりました。みんなが使っている物は、大切に使い、みんなのことを考えてもとにあった場所に戻せば、次に使う人が気持ちよく使えると思います。



### ☆教材の内容について

改札口にある、誰でも自由に使える黄色いかさを使った大助は、母親から注意されてもかさを返しませんでした。ある雨の日、かさがなくて困っているおばあさんから「かさがない」ことを聞いた大助は、家へかさを取りに走り出します。大助がおばあさんの困る姿を見て、自分の行為を反省するというお話です。

☆「なぜ、たくさんあった傘が1本もなかったのでしょうか。」という発問に、次のような意見が出ました。

- ・戻すのがめんどくさい。
- ・いっぱいあるからいいや。
- ・いっぱいあるから、返さなくても大丈夫。
- ・自分が返さなくても、他の人が返すからいいや。
- ・ルールを守らなくて、返さなくてもばれない。
- ・人の気持ちを考えていない。

\* 返さなければいけないということは分かっていても「自分一人くらいなら大丈夫」という、誰にでもある気持ちに気づき、発表していました。



授業の最後に、「今日の道徳で、思ったことや考えたこと」を発表しました。

- ・自分が大切に使うと、みんなも気持ちがいいから、いいことをいっぱいしたいと思います。
- ・自分で借りた傘を自分で返すと、人の気持ちもよくなるし、返した方がみんなも困らないからいいなと思いました。
- ・みんなが使っている物を返さなかったら、こんなふうに他の人がすごく困ってしまうことがよくわかりました。みんながみんなルールを守ったら、みんな幸せになるんだと分かりました。
- ・みんなが使っている物は、大切に使い、みんなのことを考えてもとにあった場所に戻せば、次に使う人が気持ちよく使えると思います。

次に使う人のことを考えて使う姿を見せたり、一緒に考えたりすることが、子どもたちの公德心を高めていくきっかけになるのではないかと思います。御協力をお願いします。